

学発番号： 学18-019★
事業名： 第10回京都臨床化学サマー研修会
日時： 2018年8月26日(日)9:00～17:10
場所： 株式会社三笑堂 プロセスセンター4階 上田ホール
主 題1： 装置メーカーによる新技術
講 師1： 坪井 彩 氏(ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)
主 題2： 「医療法・技師法改定に伴う変化と対応 ～品質・精度管理と試薬管理の法制化～」
講 師2： 中山 剛 氏(日本電子株式会社)
主 題3： こんな時、どうしたら良い？
講 師3： 藤本 一満 技師(倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科)
主 題4： 「新人技師教育 ～当直に入るまで～」
講 師4： 白井 洋紀 技師(京都第一赤十字病院) 上川 大輔 技師(京都微生物研究所)
主 題5： ランチョンセミナー「世界遺産 平等院の文化」
講 師5： 神居 文彰 氏(平等院 住職)
主 題6： 「精度管理の実際と基準値について」
講 師6： 繁 正志 技師(大阪医科大学附属病院)
和田 香織 技師(京都岡本記念病院)
荒川 竜士 技師(ファルコバイオシステムズ 総合研究所)
主 題7： 「他職種との友好的関わり方」
講 師7： 中林 佳代 氏(京都府立医科大学附属病院 副看護部長)
主 題8： 「RCPC」
講 師8： 稲葉 亨 医師(京都府立医科大学附属病院臨床検査部副部長)
北菌 竜彦 技師(京都第二赤十字病院)
宮澤 尚己 技師(新京都南病院)
参加数： 総数152名(京臨技会員49名)
報告者： 後藤 直樹(京都保健衛生専門学校)

以下、講演内容など

演題はランチョンセミナー含めて8演題で構成し、初めての試みとして、精度管理については、参加者に普段困っていること、異常値について、精度管理についてのアンケートを実施し、結果を元にパネルディスカッション形式で実施しました。

講演1は「装置メーカーによる新技術」について、ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社の坪井彩氏に講演していただきました。Cobas8000の機能を中心に紹介していただきました。

講演2は「医療法・技師法改定に伴う変化と対応 ～品質・精度管理と試薬管理の法制化～」について日本電子株式会社中山剛氏に、医療法・技師法改正の経緯、スケジュール、検査室としての対応などについて講演していただきました。

講演3は「こんな時、どうしたら良い？」と題して、倉敷芸術科学大学藤本一満技師に講演していただきました。参加者に事前アンケートを実施し、質問のあった事例についての対応策、考えられる要因などを講演していただきました。

講演4は「新人技師教育 ～当直に入るまで～」と題して、京都第一赤十字病院白井洋紀技師、京都微生物研究所上川大輔技師に病院、検査センターにおける新人教育の一例を紹介していただきました。

講演5はランチョンセミナーとして京都の世界遺産のひとつ、平等院神居文彰住職に平等院の文化について講演していただきました。

講演6は「精度管理の実際と基準値について」をテーマに事前アンケートを実施し、大阪医科大学附属病院繁正志技師、京都岡本記念病院和田香織技師、ファルコバイオシステムズ総合研究所荒川竜士技師にそれぞれの施設の考え方、実施方法について紹介、説明していただきました。

講演7は「他職種との友好的関わり方」と題して、京都府立医科大学附属病院副看護部長中林佳代氏に、ご自身の経験を踏まえて、講演していただきました。

講演8は「RCPC」を、解析者京都第二赤十字病院北菌竜彦技師、新京都南病院宮澤尚己技師の2名、解説を京都府立医科大学附属病院臨床検査部副部長稲葉亨医師にお願いしました。検査値の考え方を項目ごとに説明していただきました。

今年で10回目となったサマー研修会ですが、今年も実務委員を含めると140名を超える参加となりました。参加者の方に満足していただけたと感じています。来年度以降も、患者さんに役立つ、臨床に役立つ講演内容を企画したいと考えています。